



新しい文化芸術施設 市民ワークショップ -管理運営基本計画を考える-

ワークショップ通信 vol.1

発行：岡山市
平成 29 年 7 月 10 日

6月25日(日)、岡山市市民会館大会議室にて、「第1回新しい文化芸術施設市民ワークショップ」が開催され、市民参加者25名(女性12名、男性13名)、事務局スタッフ11名、合計36名が参加しました。

4班に分かれ、「新しい文化芸術施設で実施する事業イメージを考えよう!」をテーマに、新しい文化芸術施設での事業イメージについて検討を行いました。

■ 新しい文化芸術施設 市民ワークショップとは・・・

現在、岡山市では、岡山市市民会館・岡山市立市民文化ホールに代わる新しい文化芸術施設を、北区表町三丁目地区に整備する計画を進めています。昨年度は、施設の方向性を定める「新しい文化芸術施設の整備に関する基本計画～集い、魅せる、つくる 躍動するまちを目指して～」を策定しました。

本年度は、新しい文化芸術施設で期待される事業や活動、運営についての方向性を定める、管理運営基本計画の策定を進めてまいります。その検討にあたり、市民の皆さまとご意見を出し合い、共に考えていく「市民ワークショップ」(全3回予定)を開催しています。

■ 第1回テーマ 「新しい文化芸術施設で実施する事業イメージを考えよう!」

第1回のワークショップは、「新しい文化芸術施設では、どのような事業が行われるとよいか?」をテーマに事業についての検討を行いました。

「新しい文化芸術施設にやってほしい事業」「新しい文化芸術施設でやりたい事業」の2つに分け、どのような事業がおこないたいか、どのような文化芸術施設であってほしいか、を4班それぞれが議論し、ワークシートにまとめました。

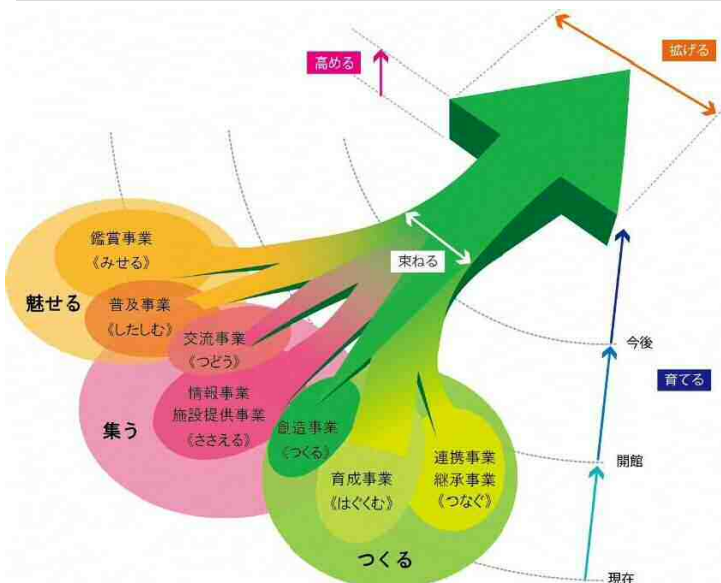
それぞれの班で、事業や他館との連携、まちづくりも含めた視点からの意見、将来の文化芸術施設のあり方までを考えた意見など、実に多様なご意見が挙げられました。

■ 新しい文化芸術施設の事業イメージとは? -基本計画での整理-

基本計画では、新しい文化芸術施設は、「魅せる」「集う」「つくる」という活動を中心に事業を展開していくことが示されています。

それぞれの活動が有機的につながり、相互に連携し、さらなる創造的な活動や事業の展開を図ることにより、岡山独自の文化芸術を創りだし、国内外へ発信していく創造型の劇場を目指します。(詳細は基本計画をご参照ください)

魅せる	鑑賞事業《みせる》 普及事業《したしむ》
集う	交流事業《つどう》 情報事業、施設提供事業《ささえる》
つくる	創造事業《つくる》 育成事業《はぐくむ》 連携事業、継承事業《つなぐ》



■ 各班でのグループワークの内容をご紹介します。

多くの人が活用できる文化芸術施設

「いかに多くの人が活用できる施設となるかということが重要なのではないか、そのためにどう掘り起こしていくか」という視点をもって議論されました。また直接利用しない人にとっても、「地域にとって自慢できる施設であること」の重要性が挙げられ、そうしたことも含む「活用」のあり方が話されました。



1
班

人が集まる文化芸術施設

「人が集まる施設であることが一番大事なのではないか」ということから、にぎわいの創出や商店街との連携など人を集める方策について多く意見が出されました。育成についても多く議論され、「将来的に地元の人で作品を創れるように」との目標をもった、先を見据えた育成の重要性についても話されました。



2
班



3
班



4
班

観ることからまちの魅力へとつなげる

「やりたいこと」と「やってほしいこと」から意見を広げ、育成や様々な場所との連携、アクセス、まちとのつながり、場の提供など、広く意見が出されました。また、「本物が地元でみられること」は大事なことで、岡山という地域は地理的に高いポテンシャルがある、という点も触れられていました。

開かれた文化芸術施設であるために

「新しくできる文化芸術施設は開かれた場所でないといけないのでは」ということを中心に議論が進められました。「これまで市民会館に興味のなかった市民を呼び込むためにも、入りやすい場であることが必要」という観点から、周辺とのつながりを含めた環境づくりについて意見が出されました。

■ ワークショップのまとめと次回の検討

各班で様々な意見が交わされ、どの班からも周辺や商店街との連携、育成事業の必要性、そして「開かれた施設」となることの重要性が指摘されました。第2回の検討(8月5日(土))では、「どのような使い方をしたいか?」という視点から、利用規則の考え方について検討を行います。

【問合せ先】

〒700-8544 岡山市北区大供1丁目1番1号 岡山市市民生活局文化振興課(本庁舎7階)
TEL: 086-803-1054 FAX: 086-803-1763



ワークショップ通信 vol.1

各班が作成したワークシートの内容をすべてご紹介します。

■ 1班



創客/市民への発信広報/興味がない人をいかに呼び込むか/今まで来なかった人を来させる工夫

若い劇団公演

公演前後の交流会/ランチタイムコンサート/オープンロビーでのライブ(音楽演奏)

出前ワークショップ(学校)/保、幼、小、中、高へのアウトリーチ活動/アウトリーチ事業(教育)/劇団等・絵本朗読・朗読・保育園、学校

出前コンサート・施設(福祉)・病院

伝統文化・若手育成

毎年同じ学年、年齢で生の舞台に出会える招待事業

美術館、図書館との連携

絵画ミュージアム

演劇関係資料室

ESD 展示/6月29日岡山空しゅう展示

貸館事業のバランス/貸館事業つかいやすい/パフォーマンスを無料でさせる(部屋を借りずに)

地域のイベントなどと連携する/商店街とのタイアップ/企業とのタイアップ

県外の人が入りやすい仕組みづくり

坪田譲治文学賞に戯曲・脚本賞

■ 2班



【事業】
舞台芸術との社会包摂事業/障害者なども含めた多様な視点・劇場そのものの社会性・施設の色を/地方ではなかなか観られない演劇・中央の劇場と提携していく/劇団☆新感線のようなエンタテインメント性のある演劇やミュージカル/国内外の先駆的な舞台芸術、鑑賞事業/国際交流できる作品の招へい/必ず人が集まる事業。(企画しても人が集まなければ意味がない)/アーティスト・インレジデンス事業/学校から鑑賞のために来館する制度(林間学校みたいなある学年で必ず行こうとか)/岡山からの創造発信事業/一年を通して毎日行われる公演/洋楽(ジャズ・ポップス)の普及事業/乳幼児でも一緒に観ることができる公演/ジャズフェスティバルの関係/音楽フロムナードの開催/文化・文学講演会・作家リレー

【育成】
まちづくりは人づくり/国内外の専門家によるワークショップ。(分野に限らず)・1週間くらいの時間をかけたもの/伝統芸術を長期間で学べる場/若手の育成と指導者になれる人材の育成と発表の場/いい人が来てその人が帰ってしまうと残念なことになるのではなく人が育っていかないといけない/子供達に施設、舞台の仕事を知ってもらおう(体験できる)事業/企画する人の力が大切/舞台の仕事ができる人を育てる/地方で芸術企画者が育っていくことにつながる事業/プロと市民が一緒につくる演劇、コンサート/専門家と勉強中の若手、市民と一緒に作品を創りながら学べる企画/プロの俳優による市民へのワークショップ/ソフト事業に関わる市民の組織を作る/夢をもって劇場にかかわっていきたくなる。・仕事となる/舞台美術・照明などが学び実施できる講座と作品創作

【他との連携】
岡山県とも連携し、一体的な運営事業計画/岡山県内の他館との連携事業→シンフォニーホール・天神山・市外のホールも

【情報コーナーの充実】
全国の舞台・公演・チラシが集まる情報コーナー+カフェ/情報コーナー・図書機能・ふるさと資料・文化芸術に特化したもの・お土産・特産品紹介コーナー/芸術に関するライブラリー/情報コーナーで芸術に関する人のネットワークづくり。・フリーペーパーをつくる

【にぎわい】
再開発事業の中で市民会館の位置づけは?・商店街との活性化と運動させていくのか→集う、にぎわいにつながる/賑わいの創出・市民会館に集った人を商店街に回遊・オープンロビーの活用事業/商店街との施設連携(ライブハウス・音楽・カフェ・飲み屋関係がある店がこんなにかたまっているところはない)せつかくなので、ホールはホールだけじゃない/表町など周辺の地域を巻き込んだ音楽のイベント開催/地域とどうコミットしていくか・岡山駅と離れているからこそできること/商店街を使った大道芸フェスティバル・岡山なので人形劇フェスなど・劇場外でできるイベント/千日前映画館街の歴史を踏まえた特色を示せたら/千日前にはライブハウスや楽器店の多い場所なのでそれを活かした。

■ 3班



【育てる・充実】
岡山市内の小学生・中学生を学期1回は鑑賞できる様に・4年生-山の学校、5年生-海の学校のように鑑賞学校/岡山が大好きになる・様はアクセスを。・電車の団体利用等/"育てる"の充実/"見る"と"つくる"とつながる場が無い/例会(公演)に来る劇団(創造団体)と市民(学生、生徒、子ども)との交流(ワークショップ)/鑑賞活動など(観る、創る)の情報交換の場/全体のストーリーと理解出来る場を(例に鳥劇場)

【まちとのつながり・交通】
交通アクセスに配慮して欲しい/これはスゴイと思える物がひとつあれば・例、直島のかぼちゃみたい/"観る""側も""つくる"側も交通が課題/オーディションして街中で活動出来る様に/電車の中での活動事業も制約がある/"みたい"ものは交通がなくても行こうとする

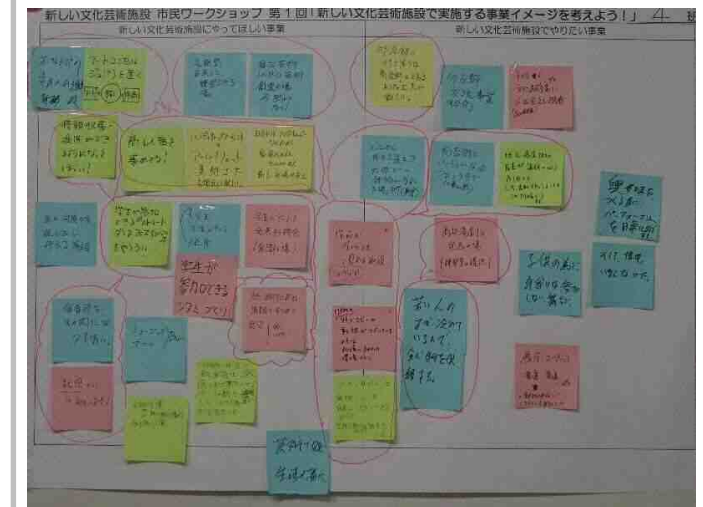
【場の提供】
東京・大阪でしか公演してない様な公演をする/"総合芸術"が身近に見える場に/舞台をしっかり確保、リハーサル室も同じ広さを/情報コーナー/ピッコロシアターの様な戯曲集を集めては/フリースペースがあるという/オープンロビーでの展示スペース/発表する場があると意欲が沸く/障がいがある方の表現の場の提供

【様々な立場の人との連携】
商店街との協業拡がりを持つ/まちのにぎわいに・繋がる場所に/横のつながり(活動団体)のきっかけを/親子で参加の鑑賞会/行政(教育)との連携事業の実現を

創造と現実/全てのコーディネートに施設で行うのは負担が大きい

全国から人を呼べる事業/地理的ポテンシャルは高い/地元で"本物"を見る事業

■ 4班



ホワイエエリアの市民への通行解放/アートコンシェルジュ(?)を置くアート+結ぶ+市民

長期間占有して練習できる場/舞台芸術以外の芸術創造の場・今岡山にない

情報収集、提供ができるようになってほしい!

高齢者を集めよう!ハンディキャップアーティストのオールブリュット・美術コーナーを常設して欲しい/日本にはハンディキャッパー740万人・家族を入れると3000万人・新しい市場がある

学生が参加できる「ストリートダンスフェスティバル」をやろう!!/文化集・大学生・交流スペース/学生のアートを発表する機会(創造する場)/学生が参加できる仕組みづくり

保育所をその内につくってほしい。/託児のこと・子供のスペース

文化芸術に関する情報をまとめて発信・紙、web

年に何度かは夜どおし使える施設

ミュージックアート Bar

学校公演⇄触れる機会を増やす⇄劇場公演

市民劇場の例会で来た劇団は1週間岡山市に滞在しているので、その間に連携してイベント等ができるか。

芸術ではなく生活の場に

作品が外からでも見れる施設 衝動的/建物の外とロビーの動線がつづいているような劇場の周りの環境づくり/オープンロビーは誰でもいつでも自由に入出入りできるように・芸術に触れる、出会う機会をつくる

市民会館の行き詰まりは商店街をとおるような工夫が欲しい。とにかく外から見えて内外が一体的になれる場所(事業)商店街といっしょになったファンクラブ(の事務局)/地元商店街の店主が講師のWS・月に1回とか・(今、表町で行っていることをこっちの劇場でやる)

高校演劇の発表の場(練習室の提供)

若い人が冷めているので食べ物を供給する

興味をつくる為に・パフォーマンスを日常に外でする。

子どもの為に年寄りには参加しない 舞台上

そして誰もいなくなった

展示スペース・書道、稼働...etc・室内に入れない・ストリート的に

他分野交流事業(紹介)
子どもが文化芸術家(プロ)に出会える機会(旬の芸術家)